

第5回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和6年8月29日（木）

午後3時30分～午後4時50分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

事務局 (藤田補佐)	<p>皆さまお疲れさまです。定刻となりましたので、ただ今より令和6年度第5回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>本日は、野島副市長が自治協議会の活動視察のため、出席しています。この場をお借りして、委員の皆さまへご挨拶申し上げます。</p>
事務局 (野島副市長)	<p>皆さまこんにちは。先ほどの広聴会から、引き続きのご参加で大変お疲れさまです。ここからは西蒲区の自治協議会ということで、お邪魔させていただきます。</p> <p>副市長は2人おりまして、全部で8区あるうちの4つずつを担当しています。私は、西蒲区と江南、秋葉、西区の4つを担当しています。実際に足を運んで、しっかり皆さまのお話を聞いて、その地区のことを理解して、区長を助けなさいと、市長からもよく言われていますので、今日は自治協の会議を最後まで聞かせていただき、一緒に参加させていただきます。どうぞよろしくをお願いします。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>ありがとうございました。続きまして、本日の会議資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に送付した資料としまして、資料1-1から1-3、各部会の会議概要。資料3-1、「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」プロジェクトチームミーティング会議概要。</p> <p>本日、机にお配りした資料としまして、本日の次第。資料2、公の施設の使用料改定について。資料3-2、「にしかんライフフェス田」プロジェクトミーティング会議概要。参考資料、にしかん応援隊の募集シート（だがしや楽校）。支え合いの大切さを広める標語募集のチラシ。</p> <p>資料は以上となりますが、不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それではこれ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>先ほどは広聴会、大変お疲れさまでした。</p> <p>また、本日は、野島副市長から自治協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。後ほど、意見交換の時間もありますので、よろしくをお願いします。</p> <p>8月はイベントが盛りだくさんで、様々な地域や関係団体の催し物があったと思います。にしかん応援隊も、2つ募集があり、ご協力をいただいた方は大変ありがとうございました。</p> <p>自治協議会は、今回が第5回ということで、今日を入れてあと7～8回とだいぶ終わりが近づいてきました。</p> <p>また、いよいよ、3部会合同の事業、自治協議会として初めての3部会合</p>

	<p>同事業が 10 月に迫ってきました。それに向けて、皆さまからもご協力いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、本日の委員の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員 29 名のうち、本日の出席者は 27 名であり、過半数の出席を確認しております。</p> <p>従いまして、新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴についてはなく、報道が 1 社来場しております。</p> <p>事務局および報道機関で、写真撮影ならびに録音をしますのでご了承ください。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは議事に入ります。議事 (1)「各部会の状況について」です。</p> <p>各部会長は、前回の部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会の順に、説明者席で報告をお願いします。なお、先ほど開催した部会の報告は、来月になります。</p> <p>それでは初めに、総務部会古島部会長、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>総務部会、古島です。総務部会から報告します。</p> <p>先月行いました、第 4 回総務部会では、冒頭で令和 7 年度特色ある区づくり事業について、事務局から概要および今後の進め方について説明があり、8 月 5 日までにアイデアシートを提出することとしました。</p> <p>本日の部会で、総務部会の分野に割り振られたアイデアを確認し、内容を協議しました。報告は、次回に行います。</p> <p>続きまして、令和 6 年度区自治協議会提案事業「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」については、サバイバルブースの役割分担および参加者と、発送する参加決定通知書について協議を行いました。</p> <p>協議の結果、サバイバルブースは、古島、柳原副部会長、小林正委員、渡辺美代子委員、遠藤委員、青柳委員、渡辺忠矢委員で運営するほか、ボランティアの方にも加わっていただき、委員だけに負担がかからないようにすることとしました。</p> <p>参加決定通知書については、開催日時、集合時間、会場を改めて案内するほか、中止の可能性のある旨も記載することとしました。</p> <p>今年度、予算 33 万円で実施する予定の減災の事業についても、協議を行いました。資料 1-1 に記載のとおり意見が出ました。</p> <p>先に行われた部会で、さらに詳細を協議しましたが、報告は次回行います。</p> <p>総務部会からは以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問はありますか。</p> <p>ライフフェス田について、各団体からボランティアを出していただき、大</p>

	<p>変ありがとうございました。</p> <p>皆さまいかがでしょうか。よろしいでしょうか。古島部会長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>保健福祉部会の岩崎です。</p> <p>先月開催しました、第4回保健福祉部会では、令和7年度特色ある区づくり事業と令和6年度区自治協議会提案事業について、協議しました。</p> <p>令和7年度特色ある区づくり事業については資料のとおりです。</p> <p>令和6年度区自治協議会提案事業については、支え合いの大切さを広める標語の募集事業について、お手元にチラシの案をお配りしていますので、ご覧ください。テーマは「支え合いの大切さ」。応募資格については、西蒲区内に在住、在勤、または在学している人。応募形式については、短歌、俳句、川柳、キャッチフレーズなど、形式は問わないとしています。募集期間は、9月15日の区だよりに掲載し、10月31日までとしています。選考については、最優秀賞1点、優秀賞5点。表彰については、最優秀賞は3,000円、優秀賞は1,000円です。裏面をご覧ください。応募方法は、インターネット、メール、fax、郵送です。標語の活用方法は、区の広報媒体での発信、庁舎等への掲示、自治協や選出団体の広報媒体で発信をすることとします。</p> <p>「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」については、資料のとおりです。</p> <p>オレンジ・ランプ上映会&丹野智文さんの講演会については、2月に開催を予定しており、会場は巻文化会館、定員は300名とすることとしました。詳細については、今後検討していきたいと思えます。</p> <p>以上、保健福祉部会からの報告でした。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問はありますでしょうか。</p> <p>私からいいですか。まず、オレンジ・ランプの上映会の日程は、ほぼ決まりましたでしょうか。これからでしょうか。</p>
(岩崎委員)	<p>2月12日の予定です。平日の夜です。</p> <p>今年2月に実施した事業では、高齢の方が非常に多かったため、今回は若い方に来ていただきたいということで、平日開催にする予定です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>もう1点よろしいですか。恐らく、部会予算があまりないため、このような副賞の金額設定になったと思うのですが、最優秀賞を3,000円から5,000円に。優秀賞を1,000円から2,000円に。予算については、ライフフェス田の方に少し余裕があるようなので、事務局と相談いただき、再検討いただけると良いのではないかと思います。</p>
(岩崎委員)	<p>ありがとうございます。事務局と相談したいと思えます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>金額は、事務局と部会長の一任としますので。</p> <p>ほかにかがでしょうか。</p>

	<p>この標語募集もそうですが、チラシを配布するだけでなく、皆さまから周知もしていただかないと、なかなか応募が集まらない傾向があります。皆さまの選出母体への周知にご協力をお願いします。</p> <p>ほかになればよろしいでしょうか。岩崎部会長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、まちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。</p>
(大橋委員)	<p>まちづくり・産業部会の大橋です。</p> <p>令和7年度特色ある区づくり事業については、8月5日までにアイデアシートを提出するというごをお願いをしました。</p> <p>次に、にしかん応援隊について、検討を行いました。応援隊の募集シートの記載内容について協議を行い、改善ポイントを各コミュニティ協議会へフィードバックして、今後の募集シート作成の参考としてもらうことにしました。例えば、潟東地区のどろんこカップについては、着替えが必要だとか、汚れた後はシャワーを浴びることができるとか、そのようなことも書いてもらった方がいいのではないかと。さらに、そのイベントならではの参加者のメリットを、もっと全面に出してアピールするとよいのではと。例えば、昼食はカレー付きですとか、田んぼの中に入る減多にないチャンスだとか。さらに、イベントの様子が分かるような写真やチラシも添付して、周知ができると良いのではないかと。</p> <p>次に、今年度実施する、応援隊をPRする事業の内容についてですが、本日検討しました。本日の結果は、次回に報告ということですが、資料に記載のとおり、令和7年1月下旬から2月上旬の土日に実施しようと決めており、本日の部会で、2月8日の土曜日に決定しました。内容としては、地域のイベントと応援隊の必要性について知ってもらうということで考えています。当日は、NAMARAの江口様から来ていただくことで、確定しました。地域のイベントの紹介や、各コミ協からのイベントの紹介、コミ協の抱える悩みなどを相談するコーナー等を予定しています。</p> <p>最後ですが、「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」について、前日と当日の出欠を、本日確認しました。食のブースは、ボランティア2名を要請することとしました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどのご説明について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>にしかん応援隊について、皆さまにご協力をいただいておりますが、なかなか人数が集まらない催し物・イベントもあります。事務局からも積極的に参加している現状もあります。それだと全然意味がないので、皆さまの知り合いの方などへどんどんPRしていただきたいです。</p> <p>ほかになれば、よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは議事(1)を終了します。</p> <p>次に、報告(1)「公の施設の使用料改定について」です。地域総務課長、報告をお願いします。</p>

<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。地域総務課の高橋です。公の施設の使用料改定について、ご説明します。</p> <p>新潟市全体で、公の施設に係る受益者負担の選定基準を策定しており、6月の自治協本会議で財務課よりご説明差し上げました。それに基づく使用料の改定ということで、本日は、西蒲区内の施設の改定状況をご説明します。</p> <p>まずは、資料2をご覧ください。概要です。先ほども申し上げましたが、選定基準を基に、市内の公共施設の使用料改定を予定しています。そのため、それらの料金改定の関係条例を、令和6年9月議会に提案する予定となっています。</p> <p>2をご覧ください。西蒲区内の施設のうち、使用料の改定を予定している施設です。少し分かりにくく申し訳ございませんが、地域総務課が所管している9施設、主に文化施設やコミュニティ施設、文化会館なども含まれています。産業観光課が所管している2施設。そのほか、本庁のスポーツ振興課や中央公民館などが所管している西蒲区内の施設、スポーツ施設や公民館などの25施設についても、使用料の改定を予定しています。今回、改定の対象となった施設が52施設ありましたが、検討した結果、36施設を改定し、16施設は今回改定しない予定となっています。</p> <p>3をご覧ください。今後についてですが、来週9月2日・3日に区民の皆さまを対象とした説明会を開催する予定です。8月の区だよりでもご案内したところです。</p> <p>別紙をご覧ください。次第と記載がありますが、これが9月2日に巻文化会館ホールで開催を予定している説明会の次第です。説明会の内容は、先ほどの設定基準をご説明したのち、各施設の改定内容の予定をご説明します。なお、3日については、西川多目的ホールが会場となっています。</p> <p>1枚おめくりください。1ページ目から4ページ目までについては、設定基準の関係資料で、6月に説明した際と同じものになっています。5ページ目は、公の施設に係る受益者負担の設定基準ということで、財務課から各関係施設へ貼り出しをお願いする予定となっているもので、こちらも6月にお配りしたものです。続きまして、6ページ目から8ページ目が、受益者負担の対象となった西蒲区内の施設の一覧です。52施設を掲載しています。先ほど説明した、設定基準で示されたグループごとに、そこに属する施設を記載しています。各施設によって、受益者負担の率が、グループIであれば10パーセントなどと、パーセンテージが書かれています。対象となった各施設の名前と、改定率の案も記載していますが、改定なしの施設は、その旨を表示しています。また、無料施設だったものが、有料施設になったものについては、改定率ではなく、無料が有料にということで記載しています。9ページ目以降は、施設における主な料金の改定額の案を一例として掲載しています。この改定案については、議会提出前の金額のため、変更となる場合もありますので、取り扱いにはご注意ください。また、改定については、</p>
---------------------------	--

	<p>9月議会を経て、正式に決まるものですので、ご承知おきください。各施設の料金を全て掲載できれば良かったのですが、資料の都合で記載できていませんので、料金を知りたい場合は、ご面倒ですが各担当所属へお問い合わせください。説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。来月9月2日・3日に説明会があるということです。施設別に予定の金額等の記載がありますが、今ほどお話があったとおり、9月議会を通してからでないと決まらないということで、案ということになっています。</p> <p>なにかご質問・ご意見がありましたら、挙手にてお願いします。いかがでしょうか。</p> <p>2日・3日の説明会では、こちらの資料を全部配布する予定なのでしょうか。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>はい。次第以降、全て同じものを配布する予定です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>料金が上がることはいたしかたないですが、310円などといった中途半端な金額だと、細か過ぎて大変かなと。</p> <p>よろしいでしょうか。では、質問・意見が無いようですので、報告1を終了します。</p> <p>次に、報告2『学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田』プロジェクトチームミーティングについて』です。第6回、7回のプロジェクトチームミーティングの会議概要について、古島プロジェクトリーダー、報告をお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>古島です。7月25日と8月20日に、「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」のプロジェクトミーティングを開催しましたので、報告します。資料3-1が7月25日、資料3-2が8月20日に開催されたものです。この2回の会議を経て、決定した内容を報告します。</p> <p>キーワードラリーについて、来場者全員に配布するステッカーは1,500部印刷すること、景品はお菓子を約300個、防災グッズのセットを300セット用意し、キーワードラリーに参加した人が好きなものを選ぶこととしました。</p> <p>マイクロバスの運行について、より良い運行方法について協議を行い、その結果、乗車は事前申込制としました。対象エリアは、中之口・瀧東、西川の升湯地域のみとします。9月15日付けの自治会回覧で案内文書を回覧することとしました。申込期間は、10月1日から1週間として、乗車する方には乗車券を送付することにしました。</p> <p>ボランティアの人数および役割についてです。ブース補助要員として、必要なボランティアの人数確認と、当日の委員の役割および割り振り案について確認しました。</p> <p>物品の分け方について、屋内コートでは、城山運動公園・巻コミ協・委託</p>

	<p>業者の物品が混在するため、それぞれ養生テープで色分けを行うこととしました。また、前日準備の際に、屋内コートでは、各物品に色分けをしながら、予め各ブースに物品を配布しておくこととしました。</p> <p>以上で、第6回において決定した内容の報告を終わります。</p> <p>引き続き、8月20日に開催されました、第7回プロジェクトチームミーティングの報告をします。</p> <p>資料3-2をご覧ください。出店者のマニュアル内に記載するため、中止の判断について協議しました。その結果、10月16日の水曜日、午前11時の气象台の予報を確認し、資料に記載の流れで判断することとしました。</p> <p>チラシの初校については、業者から提出されたデータについて、配置など大幅に内容修正を行うことになりました。先に行われた部会で、二校の紙面確認をしていただいているため、詳細は割愛します。</p> <p>アンケートについては、イベントの感想や行ってよかったブース、学んだ・体験したことを実践や周り共有したいか、などの内容を盛り込むことにしました。</p> <p>キーワードラリーについて、キーワードを決定し、設置する場所は資料に記載の場所としました。</p> <p>ステージイベントのタイムテーブルおよびマイクロバスの運行について、マイクロバスは中之口出張所から潟東出張所、城山運動公園と、もう1便が升潟小学校から城山運動公園の2本とし、会場に2時から30分滞在するように運行することとしました。また、マイクロバスの運行時間に合わせて、ステージイベントのタイムテーブルを見直すこととしました。</p> <p>前日および当日の役割分担とスケジュール、物品の回収場所についても、協議を行いました。前日の準備について、委員は午前9時半に集合し、机・椅子の運搬や、判別用のシール貼り作業など、全員で協力して行う方針としました。軽トラック等をお持ちの委員は、可能であれば、前日および当日に乗ってきていただくよう、協力をお願いすることとなりました。</p> <p>以上で、プロジェクトチームのミーティングの報告を終了します。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問・ご意見はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>初めての試みなので、野島副市長、時間がありましたら、ぜひ遊びに来てください。よろしくお願いいたします。</p> <p>古島プロジェクトリーダー、ありがとうございました。</p> <p>報告(2)を終了します。</p> <p>次に、その他、西蒲区の課題、地域の情報などです。</p> <p>初めに、先日行われた、潟東のどろんこカップに「にしかん応援隊」を活用いただきましたので、池浦委員よりアンケート結果や感想など、報告をお願いします。</p>
<p>(鈴木委員)</p>	<p>「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」の関連で、言い忘れたことがありましたので、発言してもよろしいでしょうか。</p>

<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>それでは、鈴木委員からお願いします。</p>
<p>(鈴木委員)</p>	<p>チラシ裏面にも記載があるのですが、エコドライブを担当しています。チラシをお読みいただくとお分かりになると思うのですが、物々交換を行います。ついては、委員の皆さまからも、いろいろな品物を提供していただきたいというお願いになります。</p> <p>チラシに掲載している、天体望遠鏡とベースは私のもので、家で眠っていたものです。もちろんしっかり使えます。そういったもの、例えば、今の時期で言えば、お中元でもらった乾物やデザート類、そのほか缶詰といった、常温保存が可能で、賞味期限 2 か月以上あるなど、条件もあるので、チラシを読んでいただいた上で、委員の皆さまからも提供していただき、ライフフェス田の当日に交換にくる皆さまが物々交換を楽しめるように、ご協力をお願いします。</p> <p>例えば、使える小物の家電や、小説などの書籍、まだまだ使えるカッコいいゴルフクラブといったスポーツ用品なども対象です。わざわざ購入する必要はありませんが、用意してくださることは一向に構いません。</p> <p>来てくれる方から楽しんでもらえるように想像しながら、より良いブースにしていきたいと思っておりますので、皆さま、ぜひ提供をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございます。委員からの品物の持ち込みは、前日準備の時が良いでしょうか。</p>
<p>(鈴木委員)</p>	<p>当日朝でも良いのですが、多少の確認事項がありますので、できれば前日をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>整理しますと、前日準備に来られる方は持ってきていただき、当日からという方は当日で構わないということで、よろしくをお願いします。</p> <p>このために高価なものを買うということはしなくて大丈夫です。区役所の皆さまも、もしそういったものがありましたら、ご協力よろしくをお願いします。</p> <p>今のほどの件で、質問はございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは、池浦委員、お願いします。</p>
<p>(池浦委員)</p>	<p>潟東の池浦です。よろしくお願いします。</p> <p>先日、8月10日に準備で、8月16日に本番でボランティアをお願いしたのですが、10日に残念ながら2名でしたが、若い方が来てくださいました。</p> <p>ボランティアの方にアンケートを取らせていただき、地域のイベントを知ることができた、ボランティアの皆さんと協力することができた、という回答がありました。もう1人の方は、普段経験のできない田んぼに入ることがとても楽しかった、ということで、16日もお祭りに出てきてくださいとお話をしたのですが、平日なので残念ながら来られないというこ</p>

	<p>とでしたので、私たちも残念でした。</p> <p>来年度は、土曜日が本番になりますので、皆さまもぜひ、田舎の祭りに来てみてください。子どもたちも一生懸命練習していますので。</p> <p>応援隊の方にどのようにすると来やすいか、改善点を聞いてみたところ、集合場所の住所が良く分からなかった、駐車場について記載がなかったということで、そういったところももう少し細かく載せた方が良いと思いました。</p> <p>ぜひ来年、皆さま大勢でお助けして、応援していただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。なにかご質問はありますか。</p> <p>当日はすごく暑い日でしたが、区長が出るということもあり、どろんこカップを見に行きました。写真コンテストも締め切り間近ですので、ぜひ募集をお願いします。</p>
(小林(ア) 委員)	<p>来年は、どろんこバレーをします。ぜひご参加ください。区長もまたお願いします。</p> <p>当日、カメラマンは大体 50 人ほどいて、私たちは受付を担当して、それが終わったら見守り隊をしました。変なカメラワークをしている人がいないか見回っていました。</p> <p>おかげさまで、無事終わることができました。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、岩室温泉祭りでも、応援隊を活用いただきましたので、田中副会長からお願いします。</p>
(田中(弘) 委員)	<p>岩室からは、8月25日の温泉祭りに応援隊の募集をしまして、合計2名、男女1人ずつの参加がありました。</p> <p>当日は残念ながら夕方から雷雨で、警報出たということもあり、岩室甚句の輪おどりや岩室太鼓、越王太鼓など、急遽、いくつかのホテルのロビーで分散して開催ということになりました。</p> <p>応援隊の方には、太鼓の積み込みなどの準備をしていただき、大変助かりました。応援隊の方からは、あまり訪れることのない地域で地域の方との関わりができた。もうひとつは、普段、運営側として参加することのできないイベントに参加することができたという感想をいただきました。</p> <p>来年も募集することがあるかもしれませんので、ぜひよろしくをお願いします。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。なにかご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは次の応援隊についてです。第18回だがしや楽校です。</p> <p>毎年、多加良まつりの開催日に、巻神社の境内で手作りおもちゃ等を作って、子どもたちにもものづくりの楽しさや、友人同士のフレンドリーな関係といったことを体験してもらうイベントです。</p>

	<p>今年で 18 回目になります。日にちは、10 月 20 日の日曜日、午前 8 時から 14 時までです。会場設営 5 名、おもちゃ作製のアシスタント 5 名、後片付け 5 名を募集しており、どの時間帯でも構いません。巻コミ協の教育文化部が主催ですが、教育文化部の人数が少なくなってきており、ぜひ皆さまからご協力いただきたいと思います。集合場所は、巻神社境内で、お弁当を用意しております。奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願ひします。</p> <p>以上です。なにかご質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、野島副市長との意見交換です。それでは副市長、説明者席までご移動をお願いします。</p>
事務局 (野島副市長)	よろしくお願ひします。
議長 (吉田会長)	<p>本日、野島副市長からご出席いただいております。せっかくの機会ですので、なにかご質問やご意見のある委員がいましたら、挙手をお願いします。</p> <p>なお、時間が限られておりますので、質問は 1 人 1 分程度で簡潔にお願ひします。</p> <p>西蒲区全体のこと、新潟市のこと、なにかご意見、また、聞いてみたいことがありましたらよろしくお願ひします。20～30 分程度、お時間がありますので、せっかくですので皆さまいかがでしょうか。</p> <p>田中委員、お願ひします。</p>
(田中(妥)委員)	<p>西蒲原土地改良区の田中です。よろしくお願ひします。</p> <p>要望なのですが、新潟市はほ場整備が大変遅れていましたが、今、大変進んでおります。西蒲区、西区の笠木地区、南区の月潟地区は、これからは場整備が行われます。西蒲区に限れば、中之口地区、巻の馬堀地区、河合地区が終わり、潟東地区の 6 地区が 6 年度採択で既に動き始めており、7 年度に 1 地区採択されますと、潟東地区においては約 8 割のほ場整備が終了する予定となっております。今まで 1 区画 10 アールでしたが、1 区画 1 ヘクタールの大規模ほ場が近い未来にできあがる予定となっております。</p> <p>新潟市からの 10 パーセントの補助など、引き続き、新潟市からもご協力をお願いしたいということと、ほ場整備が終ればすべてよしというわけではなく、今現在、皆さまが思っている以上に担い手がいません。この先、新潟県の農業の特に水田、稲作がどのようになるのか全く想像がつかないです。多分ここ 7 年、8 年、10 年以内に確実に大変な状況が来ると思います。そういった点も含め、新潟市、新潟県へ色々な難題について、相談に伺うことになると思います。引き続き、よろしくお願ひします。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。副市長、お願ひします。
事務局 (野島副市長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>農業の生産性を上げていくほ場整備、大規模な稲作の展開において、非常</p>

	<p>に有効な手段のひとつだということは承知しています。市、あるいは土地改良区さんが号令をかけて、「ここはまとめて整備するよ」と言っても、なかなかそれぞれの農家さんのご理解とご協力がなければ進んでいかないことだとも思っております。</p> <p>ですので、今後とも、大規模なほ場整備に向けて、皆さまのご意見や教えも拝借しながら、市としても進めていきたいと考えております。また、このことは、農業の担当部署へしっかりと伝えたいと思います。</p> <p>それから、担い手不足のお話もいただきました。農業に限らず、例えば地域活動もそうですが、今、大活躍されている皆さまの高齢化という問題もあり、なかなか次なる担い手が不足しているという状態です。市としても、若い方、そして農業には直接これまで関わっていなかったけれどもちょっとやってみたいという方、あるいは子どもたちの世代に、農業に関わっていただくための仕掛け、工夫に知恵を絞っているところです。皆さまからも、このようなことをしたらいいのではないかというようなことを、ご意見いただけたらと思います。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>大橋委員、お願いします。</p>
(大橋委員)	<p>西蒲区ということではないですが、最近特に、新潟駅周辺のにいがた 2km の話が出ていますよね。新潟駅もかなり良くなってきたし、その前の道路もどんどん歩道をつくっていくというようなことをニュースで聞きました。にいがた 2km を各区に関連付けるような取り組みもやっていきたいというような話も聞いたのですが、そちらについてはどのような考えを持っているかということと、もう 1 つは、信濃川の脇で食事ができるような催しが行われていると思うのですが、どのような状況になっているかということをお聞かせいただきたいと思っています。以上です。</p>
事務局 (野島副市長)	<p>にいがた 2km の取り組みは、新潟駅から万代を通過して古町、市役所のあたりまで含めたエリアにおいて、首都圏から大きな企業にも入ってもらい、雇用の場を生み出し、そこを成長のエンジンとして、新潟市内全域でその恩恵が受けられるように、各区とも一緒にプロジェクトを進めているところです。今、西蒲区役所にも、そのプロジェクトのメンバーとなっている職員がおり、西蒲区ではどのようにして繋がっていくのがいいのか、繋がっていくのかを一緒に考えているところです。</p>
(小林 (ア) 委員)	<p>もっと具体的に教えていただけますか。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>副市長から話がありましたとおり、2km エリアでは企業誘致を図り、IT 関連の企業の集積がだいぶ進んでおります。</p> <p>駅前から万代・古町のエリアで西蒲区のことを PR する物産展のようなことを行ったり、2km にいる企業さんの技術やアイデアを西蒲区の、例えば、先ほどもお話があった農業や観光など、何かにかしたりできないかと</p>

	<p>ということで、具体的な動きはこれからになります。研究をしているところです。</p>
<p>事務局 (野島副市長)</p>	<p>一例なのですが、江南区の亀田に亀田縞という昔ながらの織物があります。それをにいがた 2km のデザイン関係、あるいは IT 関係の企業とタグを組み、若者にも人気の出るような色、グッズといったものにさらに発展させられないか、という取り組みをしているところです。まだもう少しかかると思いますが、割とシックな、実用一点張りであったであろう、亀田縞をもっと製品として広めていく取り組みが、進んでいるようです。</p> <p>それから、信濃川の海の方、河口の方に向かって右側の八千代橋と昭和大桥の間で、今「ミズベリング」という催しが行われています。様々な飲食店さんがブースを出しており、やすらぎ堤の本当に川のすぐそばまで、テントやいす、テーブル等を出して、水辺の涼しさや夕暮れ時の雰囲気、そういったものを味わっていただきながら、おいしい食べ物ともちろんお酒、飲み物も召し上がっていただけるような、取り組みをしています。「ミズベリング」という名称から分かるように、河川といった水辺空間を市民の皆さまに楽しんでもらいたいという事業の一環です。</p> <p>また、万代橋よりさらに河口になると、新潟県の土地になるのですが、通年、白っぽいプレハブのような建物のものがある、そこでも飲食ができたり、キャンプファイヤーを体験できたり、近隣のマンションの方達と一緒に盆踊りをしたり、という楽しい企画が行われています。</p> <p>これは信濃川の話ですが、西蒲区には大自然が、川だけでなく、海、山、そして田んぼも水辺空間と言えらると思いますが、それを応用した様々な催しが開かれていることが、本当に素晴らしいことだと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>渡辺委員、お願いします。</p>
<p>(渡辺 (忠) 委員)</p>	<p>自治協の渡辺です。私が自治協の委員になって1年半が経つのですが、1年前の初めの頃の1~2ヶ月の間、自治協議会はこの形がいいのかなと、実は疑問に思っていました。西蒲区ではこうだけれど、他の自治協議会はどのように運営されているのかということで、実は他の7自治協議会へ15回傍聴に出掛けました。南区はちょうど案件があったので、3回行ったのですが、その中で感じたことは、どこも報告が多く、時間がない。</p> <p>時間ないということ、なぜ私が問題にしているかということ、深く掘り下げていく協議がなかなか行われないからです。例えば、他の自治協だと、案件があると総会の日以外に部会を開いて、そこで煮詰めてくると。そして、それ発表するということが行われています。私は総務部会ですが、特色ある区づくり事業の委員アイデアの中で、行政と住民と一緒に考えてチームや協議会を作って、協議をしていくという非常にいい意見が出ました。これ</p>

	<p>は、いろいろ考えていこうという、良いことだったと思うのです。ところが、その時間がないということになると、何も深めていくことができない。自治協議会にとっても、マイナスになると思うのです。</p> <p>例えば、人口問題も、空き家問題も、公共交通の問題もあります。でも、これはもうこの10年、15年来、常に話し合われてきたことで、誰が主体になってやるか、国なのか、県なのか、新潟市なのか、西蒲区がやればいいのかということがなかなかはっきりしていないのです。各団体から、少し話が出るが、そこで終わってしまうということが多々あったのだらうと思います。行政としても、結論出そうという動きを持って、物事に対応してもらいたいと思います。そうでないと、少し話し合いをしました、その後は放っておきました、2～3年経ちました。そして、また一からスタートです、ということになります。既に、そのような課題がたくさんあると思いますので、自治協議会をどのようにすべきか、今のままで足りないと思いますので、ご検討いただければありがたいと思います。以上です。</p>
<p>事務局 (野島副市長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>自治協がどうあるべきか、ということは、自治協を作った時からの永遠の課題であり、私が伝え聞いたところによると、立ち上がった当初、政令指定都市になった直後で、区ができたばかりの頃。その頃の自治協は、今よりももっと市からの報告が多く、報告を聞くために集まったようなものだというお叱りを受けて、せつかく委員になってくださった皆さまのご意見を、まずは発言していただき、そして議論していただき、そしてそれがしっかり区のためになっている、なったという目に見える形にさせていただくためには、どうあるべきなのかという議論がなされてきて、各区で工夫をして今の形になったと。もちろん、今が理想的な状態であるとは申しませんが、そういう時代、時代でいろいろ変遷をたどりながら、今、それぞれの区の状態になっていると理解をしているところです。</p> <p>区によっては、部会を別の日に開いているところもあれば、自治協の本会議に合わせて開いているところもあると聞いています。なかなかこれだけの人数から集まっていたら、本会議だけでは議論が深まりきれないということで、まずは部会で議論を深め、それを全員そろったところでも披露すると。そこでまたさらに、皆さまからのご意見をいただく、というような工夫をしていると聞いています。</p> <p>さらに、各部会で区民の皆さまのために、何かできることをするのがいいのではないかと。議論だけでなく、何かしらの催し、先ほども紹介いただいた映画の上映会や、「にしかんライフフェス田」のような、皆さまに集まっていただくような主催事業を持つことはどうだろうかということで、以前から各区で行われています。単なる話し合いだけではなく、意見を述べるだけでなく、委員たちも区民の皆さまのために何か行動しようという機運が高まって、自治協主催の事業があちらこちらで盛んに行われるようになりました。</p>

	<p>しかし、それはそれで、自治協はイベント屋さんなのか、というご意見も出てきました。各部会が主催のイベントを一生懸命やってくださって、それはそれで大成功して区民の皆さまも喜んでくださる。でも、果たして、自治協の委員がイベントの裏方、主催をするというだけでいいのだろうかというようなご意見ももちろん出てきました。</p> <p>議論だけするというのもどうなのか、イベント屋さんになってしまうこともどうなのか、という中で折り合いをつけながら、それぞれの区で自分たちの自治協がどのようにあったら、区民の皆さまのためになるのだろうか。そして、各区役所の仕事がしっかりと上手く運ぶようになるのだろうか。ということを考えていただいていることが、現状ではないのかなと思っています。</p> <p>そして、この自治協は、区の自治協なのです。先ほど、国なのか、県なのか、市なのか。主体はどこで、どこに対して意見を言うのか、というようなお話がありましたが、やはり、区自治協議会の基本的なスタンスは、区政がどのようにしてしっかりと皆さまの気持ち、あるいはお考えを反映して確定していくか、ということに対してのご意見をいただいたり、活動をしていただいたり、ということだと思っています。</p> <p>ただ、区が8つ集まって市なので、その市全体の市政、政策についても、もちろんご意見をいただいてもいいですが、市の政策がきちんと自分たちの区に反映されているのか、市長はそう言っているけどうちの区では全然形が見えてきていない、というような具体的なお話もしていただくことが本当にありがたいことだと思います。</p> <p>ですので、決まった形というものではなく、これまでも変遷をたどってきましたし、区によっても違いますし、うちの区の自治協はもっとこうあるべきなのではないかというようなお話も有意義なことだと思います。時間が足りない件については、何回も何回もお集まりいただく、あるいは長時間お集まりいただく、ということがなかなか難しい委員の皆さまもいらっしゃる中で、この程度の時間、この程度の回数、というところで今、落ち着いているのだと思います。時間を延ばす、回数を増やす、ということはなかなか難しくても、決まった時間の中でどのようにして中身の濃い有意義な話し合いができるか。そのためには、例えば、事前に意見を出していただき、それを見てきた上で、さらに詰めた議論だけを集まって行うとか、会議の持ち方やミーティングの進め方については、工夫ができるのではないかと思います。</p> <p>なので、これからも西蒲区の自治協議会の全体会、そして、部会の持ち方については、皆さまお忙しい中とは思いますがけれども、区役所、職員ともしっかりと議論を深めていくということは、非常に大切なことだと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。 時間も迫ってきておりますので、副市長、お願いします。</p>

事務局
(野島副市長)

今日、皆さまの会議を聞かせていただきました。大変ありがとうございました。

まずは、「学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田」楽しみですね。委員の皆さまの、西蒲区の皆さまに楽しんでいただこうとか、区を盛り上げていこうというお気持ちが、ひしひしと伝わってきて、まるで文化祭の前のわくわく感のような感じを持ちました。ぜひ私も伺えたらと思います。

そして、その他に、総務部会では減災に関する事業を計画中だとお聞きしました。先ほどの広聴会の時も言ったのですが、この言い方が良いかどうか分からないのですが、今年はチャンスだと思うのです。これまで関心の無かった方や年代の方に、しっかりと防災・減災について考えていただく、またとないチャンスでもあると思っています。市としても、復旧・復興をしっかりと進めながらも、市民の皆さまと今までなかなか届かなかった皆さまに、先ほどの防災士の方も言ってらっしゃいましたけど、知識や考え方、行動について、考えていただくきっかけができたらなと思います。ぜひ、減災の事業もよろしくをお願いします。

保健福祉部会では、映画の上映会を行うということで、昨年が高齢者の方がとても多かったため、今年は若い世代にも来ていただきたいということで、上映会の日時や内容を工夫されているということ。年代が偏ることなく伝えていこうという、お考えが伝わってまいりました。ありがとうございます。

まちづくり・産業部会では、にしかん応援隊のお話を聞かせていただきました。人数を増やしていくことは、これからのことだと思うのですが、例えば、各小・中学校のPTA活動でも、似たようなことが全国的に始まっています。今は、共働きのお宅が多くて、PTAの役員のなり手、積極的にやろう、やれるという方が、そもそも少なくなっている。そこで、学校行事ごとに手伝ってくれる人、関わってくださる方を募集したところ、なかなかいい感じで手が挙がると。例えば、今はもう少なくなっている、もうないのかもしれませんが、夏休みの学校プール開放で、私の子どもが小学校の頃、そのお手伝い、監視をしてくれるPTAの保護者がとても足りなくて、結局PTAの中の保健体育部のような部に所属せざるを得なかった保護者が、夏休みの最中、何回もプール監視をさせられるという話をよく聞きました。けれども、この日、この日というように、なんとかその日だけでも手伝ってくれる人いませんか、都合のつく人はいませんか、と切り出して募集することで、前よりも人が集まるようになったとか。それを文化祭でも、学校の児童を学校から離れて校外活動に連れていくためのボランティアでも、そのように切り出して募集するということは、非常に有効な手段だと聞いています。このにしかん応援隊についても、本当に機動的に安定していくことを期待しています。

以上が、今日の自治協議会を聞かせていただいた感想でした。ありがとうございました。

議長 (吉田会長)	大変ありがとうございました。ちょうど時間ですので、野島副市長との意見交換は、これで終了します。 副市長、大変ありがとうございました。
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	それでは、本日の議事は全て終了しましたので、田中副会長から締めをいただきたいと思います。
(田中(弘)委員)	皆さまお疲れさまです。まずは、副市長ありがとうございました。 堀区長がよくおっしゃっているのですが、西蒲区には全てがあると。ただ、持てるがゆえの課題というものも感じています。美しい山々がありますが最近ではイノシシや猿が多い、海が目の前にあるのですが常に津波の脅威がつかまとう。 持てるがゆえの課題がたくさんありますので、それは自治協、地域、あるいは行政の皆さまで、知恵を絞りながら取り組んでいきたいと思っていますので、今後ともよろしく願いしまして、今日はこの会を締めたいと思います。ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	それでは、進行を事務局へお返しします。
事務局 (藤田補佐)	ありがとうございました。最後に事務局から連絡します。 次回の西蒲区自治協議会は、9月26日、木曜日の午後に開催を予定しています。なお、次回の会場は岩室地区公民館となりますので、お間違えのないようよろしくお願いします。案内については、後ほど、改めて送付しますので、よろしくお願いします。 それでは、以上をもちまして、令和6年度第5回西蒲区自治協議会を終了します。本日はお忙しいところ大変ありがとうございました。